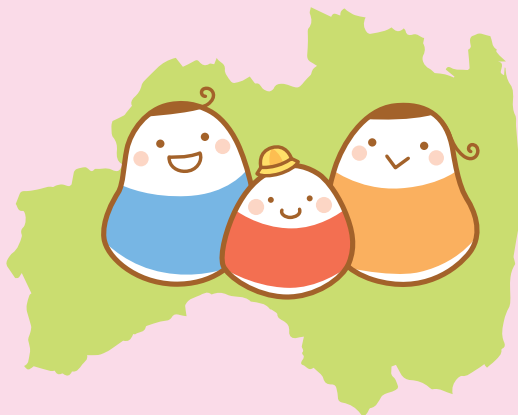


子どもの健康と環境に関する全国調査

エコチル調査で わかってきたこと

福島ユニットセンターへの
エコチル調査質問票回答から



公立大学法人福島県立医科大学
エコチル調査福島ユニットセンター

目次

●ごあいさつ	1
●はじめに	2
●エコチル調査の概要	4
●福島ユニットセンターにおけるエコチル調査	5
●キャラクター「こぼちる」について	6
●エコチル調査でわかってきたこと	7
・お母さんとパートナー（配偶者など）の生活習慣	8
お母さんの喫煙習慣	
パートナー（配偶者など）の喫煙習慣	
お母さんの飲酒習慣	
・育児をとりまく環境	11
子育ての環境	
育児・家事の協力状況	
育児・家事の役割分担の状況	
・乳幼児の生活や子育ての様子	14
乳児期の授乳	
卒乳の時期	
幼児の食生活	
睡眠について	
歯の健康	
子どもの排尿、排便の自立	
1歳時のお母さんの就業状況	
お子さんが通園、通所を開始した時期	
親子で過ごす時間の状況	
子どもとメディアの関わり	
●もっとエコチル調査を知りたい方のために	24
・エコチル調査だより	
・成果発表一覧	
・福島ユニットセンターホームページ	
●エコチル調査協力医療機関・施設一覧	26

★本冊子の内容をご利用いただく際には出所の明示をお願いいたします。

ごあいさつ

エコチル調査の推進につきまして、日頃よりご理解、ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

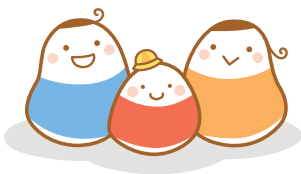
10万人を超える妊婦さんの参加登録を得て開始された本調査の成功の鍵は、可能な限り多くの子どもたちの参加継続、そして高い質問票返却率の維持です。

全県下で実施されている福島県における本調査は、調査登録出生児の約97%（約12,500人、2018年3月31日現在）が継続参加し、半年ごとの質問票回収率は概ね80%となっているなど順調に進んでいます。参加者そして関係者の皆様のご協力の賜物です。改めて感謝申し上げます。

この度、これまで参加者の皆様からご提出いただいた質問票の中から、特に関心が高いと思われる項目について、福島県のデータを中心に集計し、グラフとしてご覧いただけるよう冊子にまとめました。

さて、みなさん、小惑星探査機“はやぶさ”をご存知でしょうか？ 2号機がリュウグウでの第2のミッションを始めていますが、1号機は7年間の宇宙での幾多の困難を乗り越えて地球に戻り、宇宙の神秘を紐解く情報を私たちにプレゼントしてくれました。エコチル調査はようやく7年を経過しました。リクルートから16年間の大航海はまだまだ続きます。

一日一日と成長する子どもたちを関係者の皆様とともに見守ってまいります。どうぞこれからもエコチル調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



2018年11月
エコチル調査福島ユニットセンター

はじめに

●エコチル調査とは

正式名称は「子どもの健康と環境に関する全国調査」です

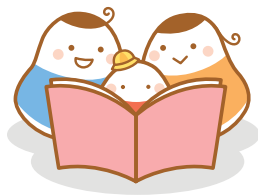


エコチル調査は、環境省が企画・立案し、コアセンター（国立環境研究所）、メディカルサポートセンター（国立成育医療研究センター）を中心として、全国15地域に拠点としてのユニットセンターを設置し、調査を進めています。

環境中の物質や生活習慣などと子どもの成長や健康にどのような関係があるかを調べる全国的な調査です。分析を含めると20年を超すこととなりますが、最終的に「生活環境にある化学物質が子どもの健康にどのような影響を与えているのか」を明らかにすることが目的です。

●エコチル調査ではなぜ環境中の物質を調べるのでしょうか

ここ50年の間に、科学や技術は急速に発展し、私たちの暮らしはとても便利になり、またこれに伴って、様々な化学物質が身近に増えてきました。こうした人間が作り出した物質が、私たちや子どもたちの健康に、どのような影響や関係があるのか、実はまだ詳しく解明されていないのです。



●なぜ赤ちゃんがおなかにいるときから調べるのでしょうか

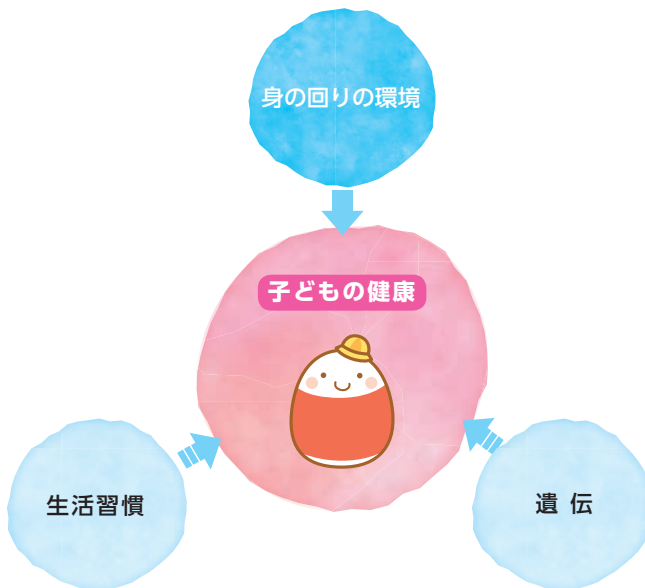
ここ数年、ぜんそくや肥満、発達障害などの病気が、子どもたちに増加していると言われています。こういった事象から、子どもは成長段階にあり、身体ができあがっていないため、大人より化学物質の影響を受けやすいのではないかと考えられるからです。

赤ちゃんがお腹の中にいるとき、お母さんの体には、貴重な情報がたくさんつまっています。子どもの病気が明らかになってからでは、その情報の多くが失われてしまっているのです。

●研究成果は子どもたちや次世代の人のために役立ってます

病気の多くは、遺伝的な性質、生活習慣、環境中の物質などが関係しあって起こります。これらの関係を明らかにすることができれば、病気の予防に役立つ政策を立てたり、子どもが健やかに育つための環境を整備したりすることができます。

子どもたちや次世代の人に健康で豊かな生活をおくってもらうために、今から対策を考え、問題があればそれを改善していかなくてはなりません。エコチル調査は、将来の人たちの健康づくりのために、たいへん大切な研究です。



エコチル調査の概要

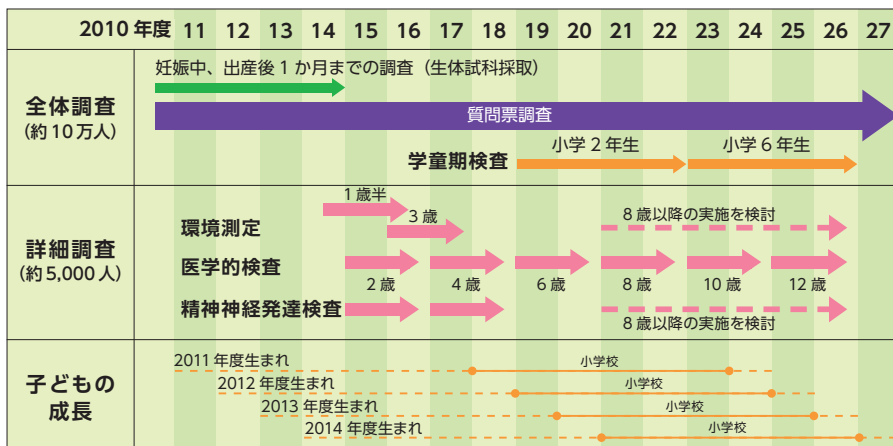
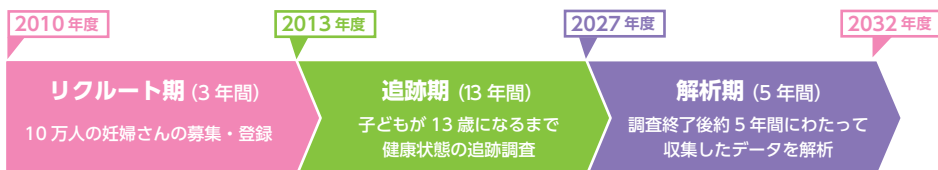


● 調査の内容

全体調査	<p>国内各地の約 10 万組の子どもたちとそのご両親に参加していただき、赤ちゃんがお母さんのおなかにいる時から 13 歳になるまで、定期的に健康や生活の状況について追跡して調べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問票調査…妊娠中および年 2 回 13 歳になるまで成長、健康、生活の様子について調べる ・学童期検査…小学 2 年生と 6 年生のお子さんを対象に成長や健康について調べる
詳細調査	<p>全体調査の一部の方においてはお子さんの健康と生活環境をより詳しく調べます。国内各地で約 5,000 人が参加しています。</p> <p>対象者：2013 年 4 月 1 日以降に生まれたお子さんのうち約 5%の方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境測定……………家庭内の化学物質やハウスダストなどを調べる ・医学的検査……………子どもの健康状態や、成長・発達・アレルギーの体質などを調べる ・精神神経発達検査…専門家の面談により子どもの発達を調べる

※このほか、各ユニットセンター独自の「追加調査」が行われる場合があります。

● 調査のスケジュール



福島ユニットセンターにおけるエコチル調査

● リクルート（参加登録）対象地域等

対 象 地 域 ※1	2011年1月開始時 10市町村（福島市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村）
	2012年10月以降 福島県内全59市町村
登 録 期 間	2011年1月～2014年3月
産婦人科協力医療機関 ※2	県内52か所 県外1か所（茨城県）

※1 調査開始後間もない2011年3月11日に、東日本大震災および東京電力第一原子力発電所事故に見舞われました。その後、調査対象地域外の妊婦、医療機関関係者から県内全域での実施を望む声があり、2012年10月から調査対象地域が福島県内全59市町村に拡大されました。

※2 産婦人科協力医療機関施設一覧は26ページに掲載

● 登録者数



妊娠した女性登録のカバー率※は **48.5%** でした。

※カバー率とは、対象地域で登録期間に出生したお子さんの人数に
対する登録した妊娠した女性人数の占める割合です。

登録期間中に県内の妊婦さんのうち
およそ「2人に1人」が調査に参加
してくれたんだね



● 年齢別のエコチルキッズ

2018年6月30日時点での暫定的な数値です

2011年度生まれ (6～7歳)	2012年度生まれ (5～6歳)	2013年度生まれ (4～5歳)	2014年度生まれ (3～4歳)
962人	2,070人	6,275人	3,204人

エコチル調査福島ユニットセンター キャラクター『こぼちる』について



エコチル調査福島ユニットセンターオリジナルキャラクター『こぼちる』は、福島を代表する民芸品、起き上がりこぼしをモチーフにし、転んでも起き上がり、すくすくと元気に育つ子ども（赤ちゃん）をイメージしています。エコチル調査と組み合わせ、誰が見ても聞いても両方をイメージしやすい、『こぼちる』と名前を付けました。

子どもたちの健やかな成長を願う想いが込められています。

エコチル調査で わかってきたこと

福島ユニットセンターへの
エコチル調査質問票回答から



この冊子について

この冊子は、これまでのエコチル調査によって得られたデータの中から、お母さんとパートナー（配偶者など）の生活習慣、育児をとりまく環境、乳幼児の生活と子育ての様子に関する項目の中から、わかりやすくグラフ化し、成果集としてまとめたものです。

※福島ユニットセンターへの質問票回答結果に基づく暫定的な結果です。

グラフ・集計表の数値は、四捨五入のために合計が100%にならないことがあります。

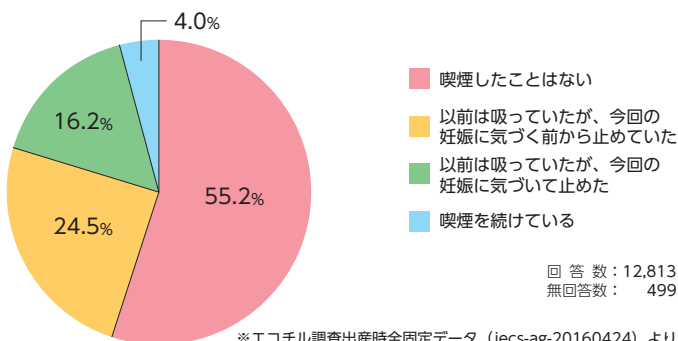
お母さんとパートナー（配偶者など）の生活習慣

●お母さんの喫煙習慣

妊娠中後期

Q. あなたご自身の喫煙についてお答えください

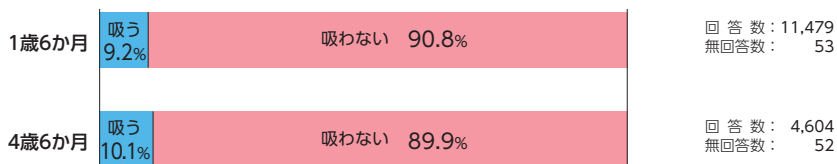
（お母さんからの回答の集計）



幼児期

Q. あなた（記入者）は、現在たばこを吸いますか

（質問票記入者が、「母」とご回答いただいた方の集計）



Q. 吸う場合は、自宅（室内）で1日に何本ぐらい吸うかお答えください



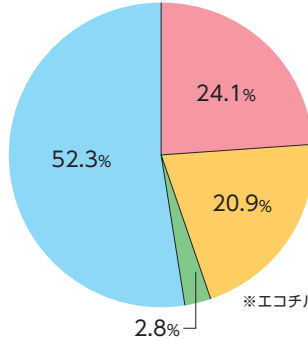
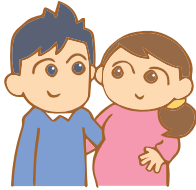
※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

●パートナー（配偶者など）の喫煙習慣

妊娠中後期

Q. 喫煙についておたずねします。お子さまの父親（あなたの夫・パートナー）についてお答えください

（お母さんからの回答の集計）



- 喫煙したことはない
- 以前は吸っていたが、今回の妊娠に気づく前から止めていた
- 以前は吸っていたが、今回の妊娠に気づいて止めた
- 喫煙を続けている

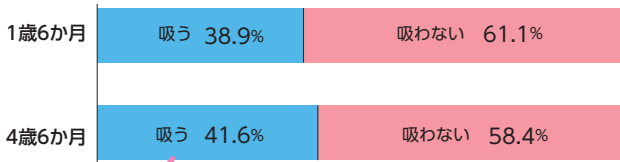
回答数：12,530
無回答数：782

※エコチル調査出産時全固定データ（jecs-ag-20160424）より

幼児期

Q. パートナー（配偶者など）や他の同居している方は、現在たばこを吸いますか

（質問票記入者が、「母」とご回答いただいた方の集計）



回答数：11,380
無回答数：152

回答数：4,521
無回答数：135

Q. 吸う場合は、自宅（室内）で1日に何本くらい吸うかお答えください

（複数の方が吸っている場合は、おおよその合計本数をお答えください）



回答数：1,823
無回答数：58

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

全国のエコチル調査のデータを使って妊娠中の喫煙状況と赤ちゃんの出生時の体重との関連を分析した論文が発表されています。（24ページ「成果発表一覧」。参照）

パートナー（配偶者など）の喫煙の割合は、お母さんに比べて高くなっています。

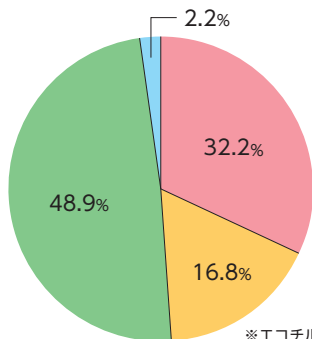
*喫煙が子どもへ与える影響については、「エコチル調査だより」第7号の健康コラム「タバコの無い社会で子育てをしませんか？」でご確認いただくことができます。（24ページ参照）

●お母さんの飲酒習慣

妊娠中後期

Q. あなたご自身のお酒についておたずねします

(お母さんからの回答の集計)



- もともと飲まない
- 以前は飲んでいましたが、今回の妊娠に気づく前から止めていた
- 以前は飲んでいましたが、今回の妊娠に気づいて止めた
- 現在も飲んでいる

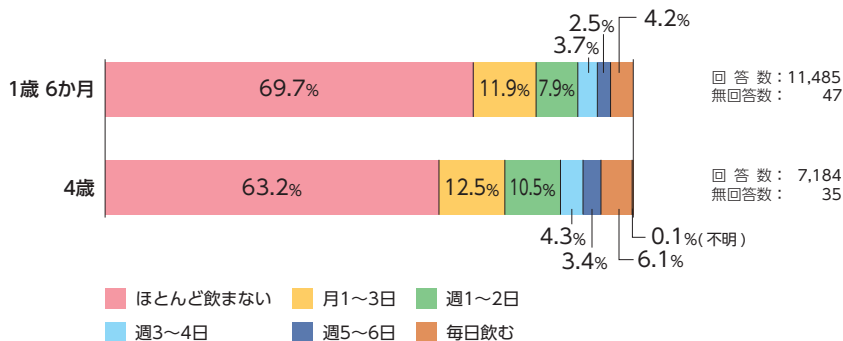
回答数：12,852
無回答数：460

※エコチル調査出産時全固定データ (jecs-ag-20160424) より

幼児期

Q. あなたはお酒をどのくらいの頻度で飲んでいますか

(質問記入者が、「母」とご回答いただいた方の集計)



回答数：11,485
無回答数：47

回答数：7,184
無回答数：35

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

妊娠中の女性のうち、飲酒習慣がある人は、「以前は飲んでいましたが妊娠中は止めた」割合が高かったです。

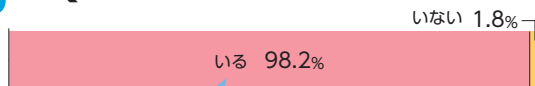
* 「エコチル調査だより」第8号には、全国の妊娠中の飲酒の頻度の集計をお知らせしています。(24ページ参照)

育児をとりまく環境

●子育ての環境

3歳

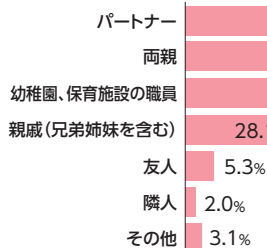
Q. お母さん以外に、お子さんの面倒を見てくれる人がいますか



回答数：10,427
無回答数：30

【「いる」と回答した方】

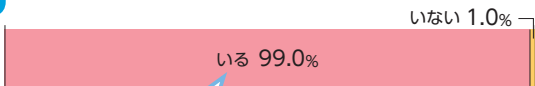
Q. あてはまる方（お母さんから見た続柄）を全て選んでください。（複数選択）



*「エコチル調査だより」
第12号には、お子さんの
面倒を見てくれる人につ
いて全国の集計をお知
らせています。
(24ページ参照)

3歳

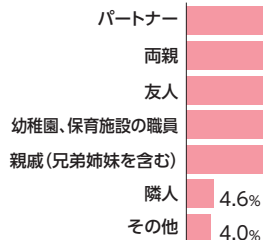
Q. お母さんが、子育てについて相談できる人がいますか



回答数：10,407
無回答数：50

【「いる」と回答した方】

Q. あてはまる方（お母さんから見た続柄）を全て選んでください。（複数選択）



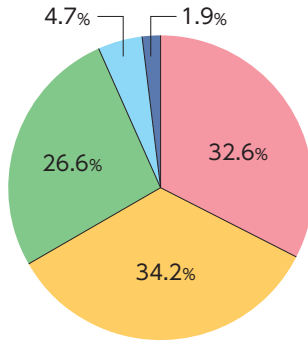
1歳から1年毎の質問票で同じ質問をしています。多くの方のパートナー（配偶者など）、ご両親がお母さんと一緒にお子さんの面倒を見ていらっしゃいます。年齢が上がるにつれて、「幼稚園、保育施設の職員」の割合が高くなっていました。

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

●育児・家事の協力状況

2歳

Q. パートナー（配偶者など）は、育児にどのくらい協力してくれますか

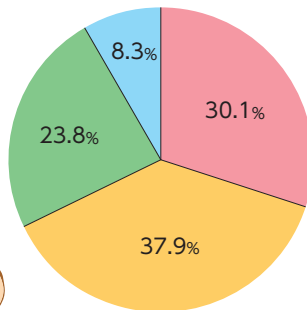


- とてもよくしてくれる
- よくしてくれる
- ときどきしてくれる
- ほとんどしない
- まったくしない

回答数：10,971
無回答数：201

2歳

Q. あなたは、パートナー（配偶者など）の育児や家事の状況に満足していますか



- 満足している
- ほぼ満足
- 少し不満
- 不満

回答数：10,872
無回答数：300

パートナー（配偶者など）の多くがお母さんと協力して子育てしている様子がわかりました。そして、70%近くのお母さんが、パートナー（配偶者など）の協力に満足されている様子うかがわれます。

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。



● 育児・家事の役割分担の状況

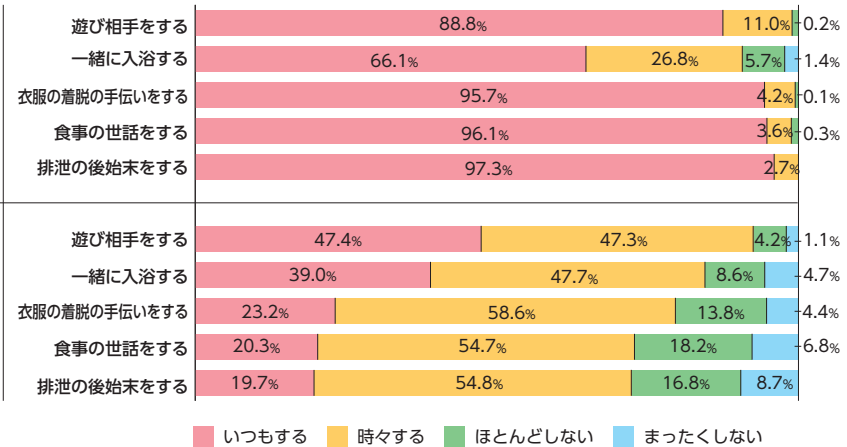
2 歳

Q. お母さんとお父さんの育児や家事の分担状況についてうかがいます

お母さん

育児

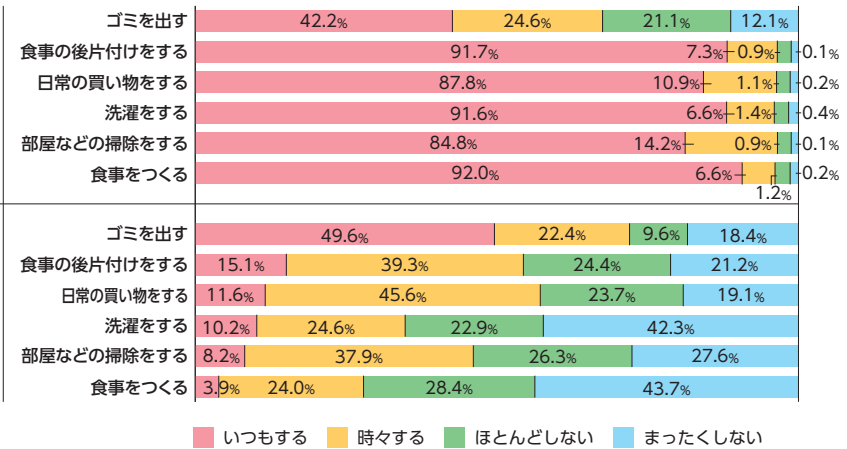
お父さん



お母さん

家事

お父さん



2歳質問票を提出していただいた11,172件のうち、それぞれの項目に無回答が86~709件あります。

育児と家事の分担について、お父さんが「いつもする」と回答された割合の高い項目から並べました。家事は、お母さんが主に分担されていますが、「ゴミ出し」はお父さんも担当している方が多かったです。お父さんの育児の分担は、家事と比べ「ほとんどしない」、「まったくしない」割合が少なく、家事よりも育児で、より多くの役割をお父さんが担っている様子うかがわれます。

* 「エコデル調査だより」第6号、第8号には、お父さんの全国の育児状況の集計をお知らせしています。(24ページ参照)

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

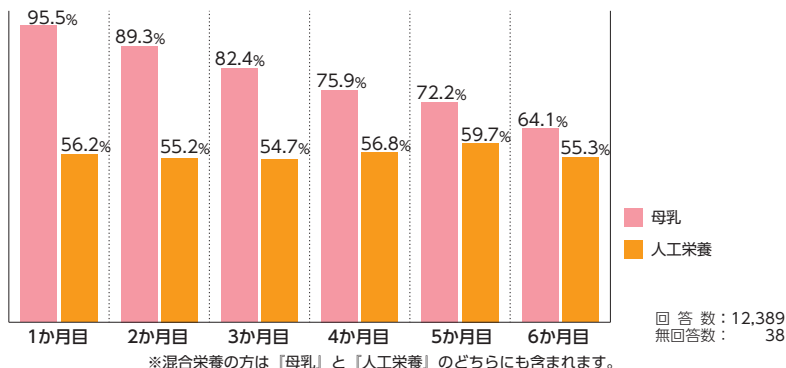
乳幼児の生活や子育ての様子

●乳児期の授乳

6 か月

Q. 母乳あるいは人工栄養（粉ミルク）を与えた状況を教えてください

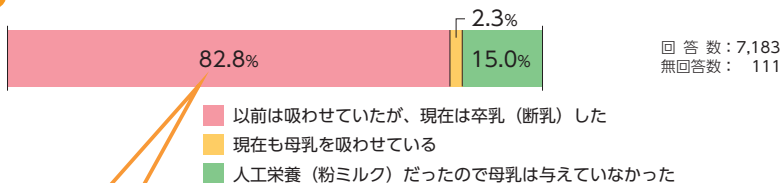
（母乳が出ていなくても寝る前に吸わせた、泣いたときだけ吸わせたなども含みます）



●卒乳の時期

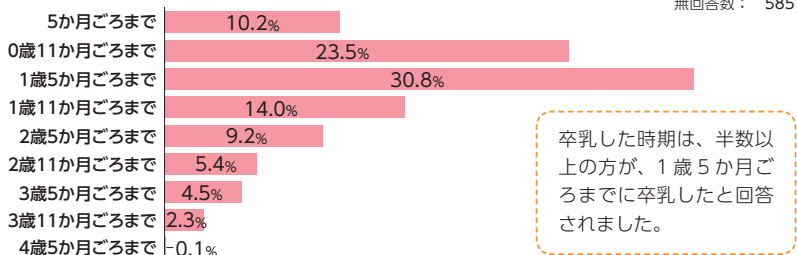
4 歳

Q. 現在、母乳を吸わせていますか



【「以前は吸わせていたが、現在は卒乳（断乳）した」と回答した方】

Q. 最後に母乳を吸わせたのは、お子さんがいくつの頃ですか

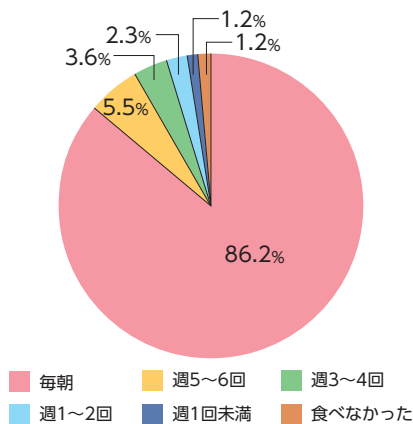


※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

● 幼児の食生活 （「最近1ヶ月間について」お答えをいただいたものです）

4歳6か月

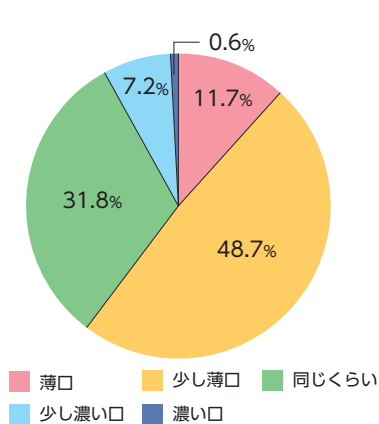
Q. 「主食（ごはん・パン・麺・コーンフレーク等）のある朝ごはん」を食べた頻度



回答数：4,642
無回答数：67

4歳6か月

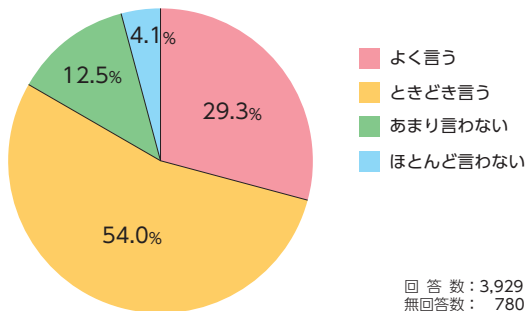
Q. 家庭での味付けは外食に比べて



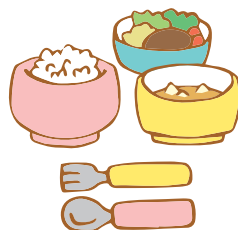
回答数：4,688
無回答数：21

4歳6か月

Q. 「お腹がすいた・早くごはんにして」と言いますか



回答数：3,929
無回答数：780



子どもたちが元気で一日がんばるためには、朝ごはんを食べることがとても大切です。皆さんのご家庭のお食事の様子はいかがでしょうか？

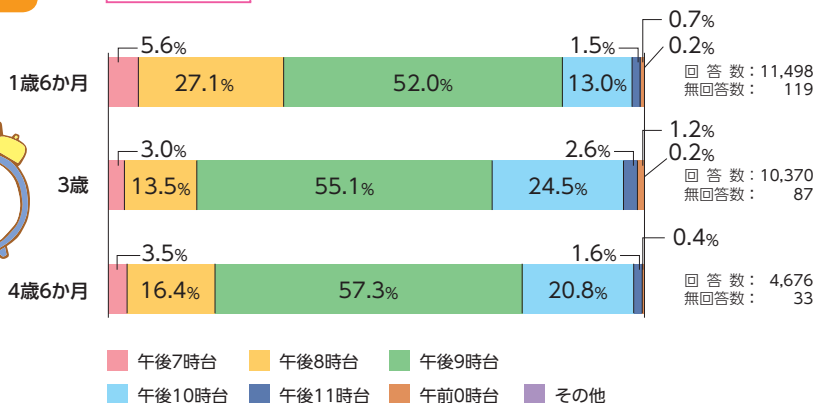
エコチル調査では、4歳6か月時の「幼児のための食事質問票」をご記入いただいた方へ、お子さんの食事、栄養の特徴などの簡単な結果をお届けしています。

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

● 睡眠について（「昨日、お子さんが寝ていた時間について」の回答より集計）

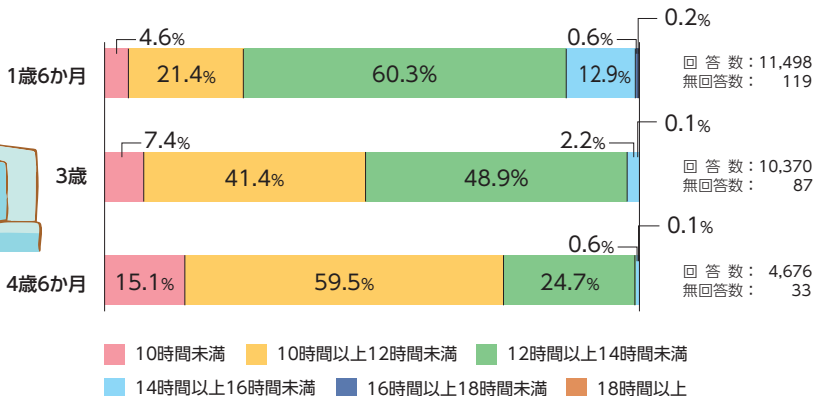
幼児期

就寝時刻



幼児期

睡眠時間



アメリカの全米睡眠財団が提案している3歳から5歳の望ましい睡眠時間は、10～13時間ですが、回答からは、睡眠時間が10時間未満の子どもが、3歳ごろで7%、4歳6か月ごろで15%にのびりました。

日本小児保健協会学校保健委員会「子どもの睡眠に関する提言」（2003.11.9）では、規則正しい睡眠覚醒のリズムをつくり、よい睡眠をとることは、子どもの健やかな発育・発達と健康の維持のためにとっても大切であること、特に、乳幼児期はお子さんの成長に必要なホルモンが寝ている間にたくさん分泌される重要な時期であることが説明されています。

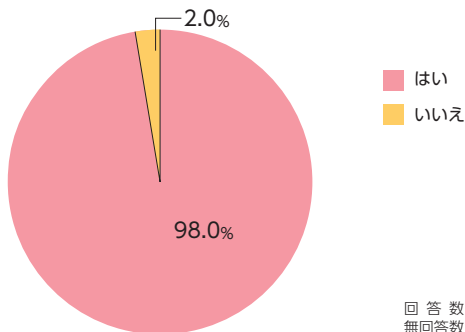
* 「エコチル調査だより」第10号には、赤ちゃん・子どもの睡眠時間について全国の育児状況の集計をお知らせしています。（24ページ参照）

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

● 歯の健康

2 歳

Q. 保護者が歯の仕上げ磨きをしていますか

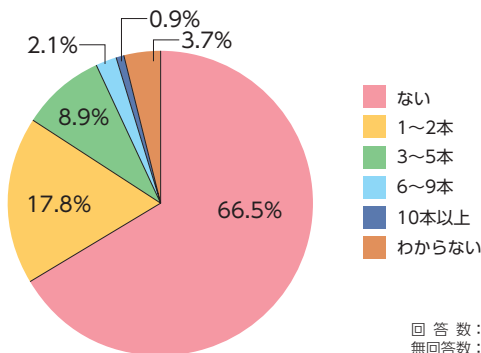


回答数：11,126
無回答数：46



4 歳 6 か月

Q. 治療済みも含めて、虫歯はいま何本ありますか



回答数：4,694
無回答数：15



エコチル調査の回答からは、3分の2のお子さんにはむし歯が「ない」でした。福島県統計課が公表している平成29年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）で報告されているむし歯被患率（治療済みのものを含む）は、幼稚園で42.7%となっています。また、最近、県内のむし歯被患率は減少傾向にありますが、学校保健統計で集められたデータの全国の平均に比べると平成29年度は幼稚園で7.3ポイント高いという結果が報告されています。お子さんの歯の健康状況はいかがでしょう。

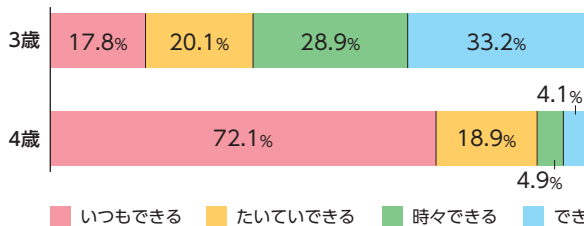
* 「エコチル調査だより」第11号の健康コラムでは、「子どもの歯の健康」について取り上げられています。（24ページ参照）

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

●子どもの排尿、排便の自立

幼児期

Q. 日中、1人で排尿できますか



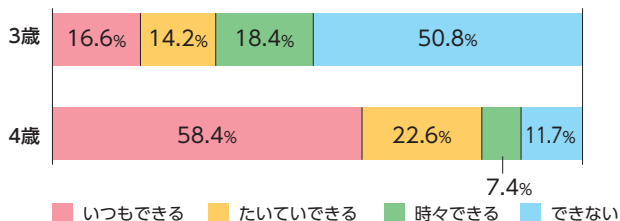
回答数：10,457
無回答数：50

回答数：7,285
無回答数：9



幼児期

Q. 日中、1人で排便できますか



回答数：10,409
無回答数：48

回答数：7,278
無回答数：16

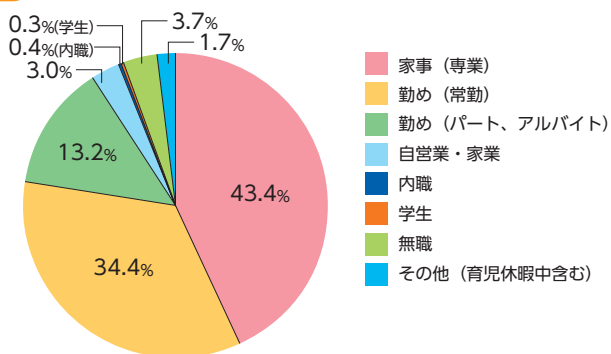
4歳では3歳時と比べて、日中におしっこが一人で「できる」、「だいたいできる」お子さんが、38%から91%、うんちは31%から81%と高くなっていました。

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

● 1 歳時のお母さんの就業状況

1 歳

Q. 現在、お母さんは仕事をされていますか

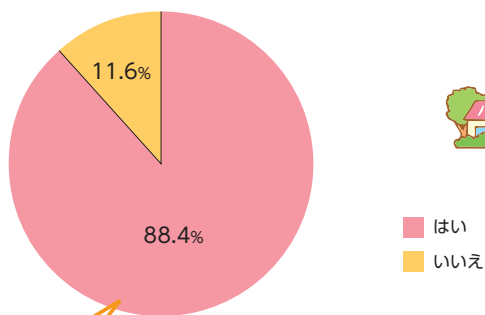


回答数：11,802
無回答数：31

● お子さんが通園、通所を開始した時期

4 歳

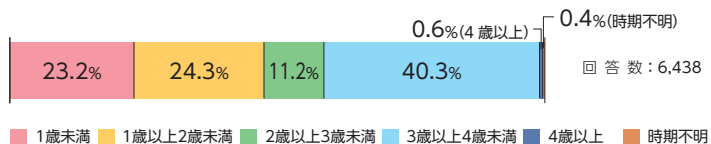
Q. お子さんは幼稚園または保育施設に行っていますか



回答数：7,281
無回答数：13

【「はい」と回答した方】

Q. 通園・通所を開始した時期はいつですか



回答数：6,438

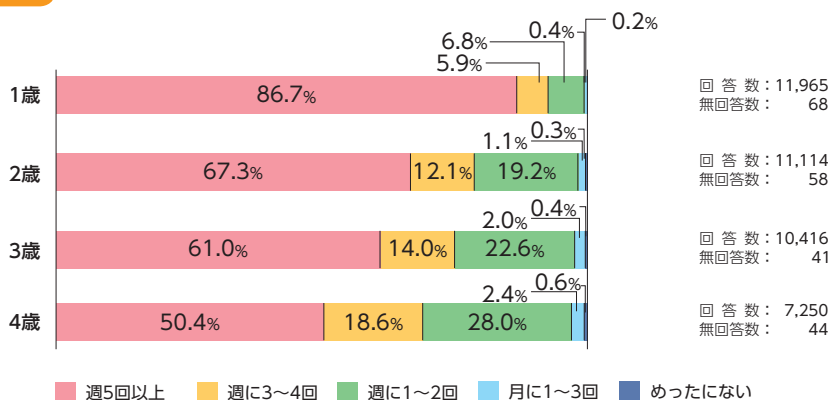
4 歳質問回答時に、通園・通所しているお子さんは、88% となっていました。通園・通所を開始した時期は、3 歳以上 4 歳未満が 40% と最も多い回答でした。

※ 2018 年 5 月 31 日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

● 親子で過ごす時間の状況

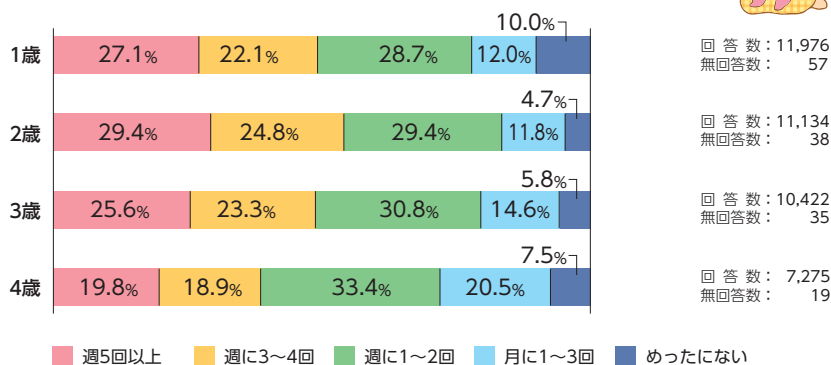
幼児期

Q. お子さんと一緒に遊ぶ機会はどのくらいありますか



幼児期

Q. お子さんに絵本を見せながら、話かける機会はどのくらいありますか

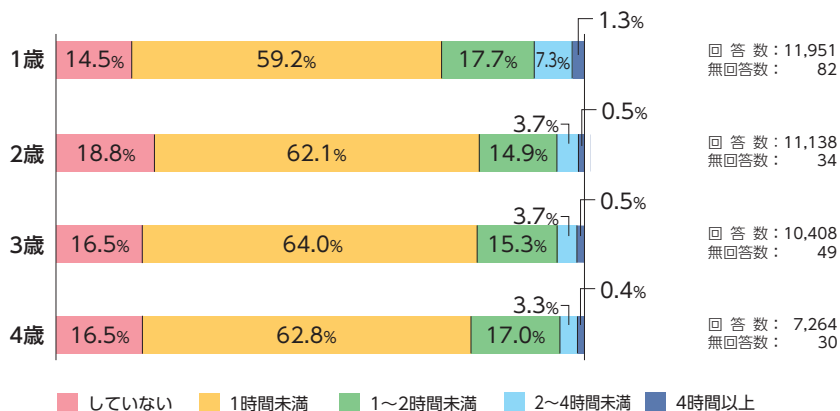


* 「エコチル調査だより」第8号では、子どもと関わる時間について全国のデータの集計結果が掲載されています。(24ページ参照)

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

幼児期

Q. お子さんと一緒に過ごしている時間のうち、あなたが、
パソコン、携帯電話、携帯情報端末や電子ゲーム機などを
使用している時間はどのくらいですか



保護者の方の約 2 割は、お子さんが起きている時間にパソコンや携帯電話を操作している時間が 1 時間以上でした。日常生活に欠かせなくなったスマートフォンやパソコン。子育てに関する情報の検索にも便利な一面があります。一方で、子育て世代の保護者のスマートフォンやパソコンの行き過ぎた利用には、悪い影響も指摘されています。

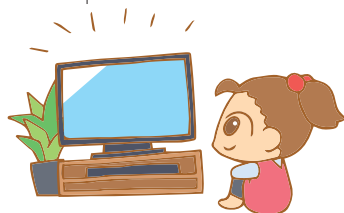
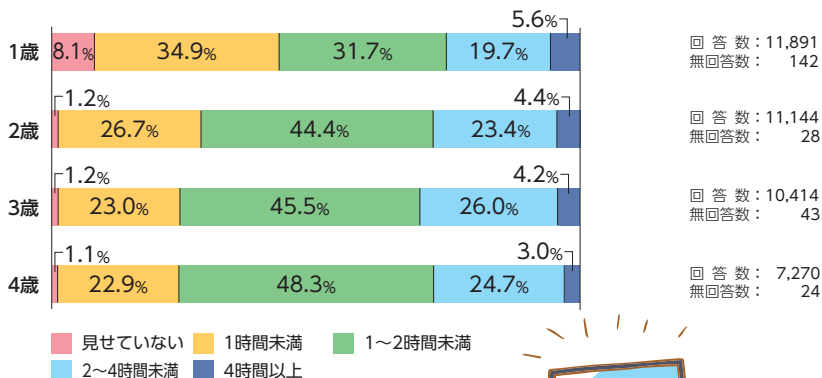
日本小児科医学会子どもとメディア委員会から、「スマホに子守りをさせないで！」というメッセージが出されています。この中で、親子の会話や体験を共有する時間（絵本の読み聞かせ、遊びなど）がうばわれてしまうため、親も子どももメディア機器への接触時間の調整が大切だと説明されています。日常から、上手に便利なメディアやシステムを活用したいですね。

※ 2018 年 5 月 31 日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

●子どもとメディアの関わり

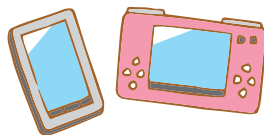
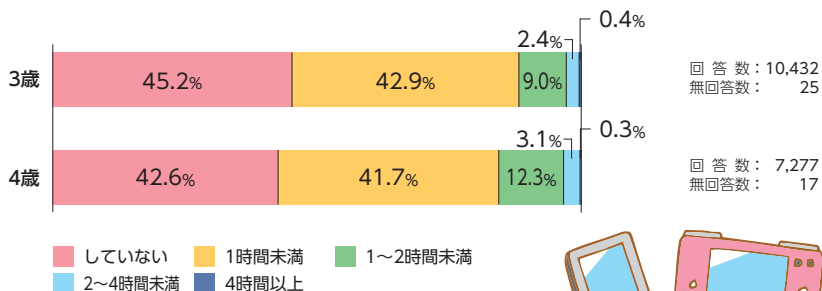
幼児期

Q. ふだんの1日、お子さんにテレビやDVDなどを何時間くらい見せていますか



幼児期

Q. ふだんの1日、お父さんが、携帯電話、携帯情報端末や電子ゲーム機などを触ったりいじったりしているのは、何時間くらいですか



お父さんの約2割が2時間以上テレビやDVDを見ていました。また、3~4歳のお子さんの4割は、これらの端末を1時間未満触ったりしていました。

※ 2018年5月31日時点の福島ユニットセンターのデータに基づく暫定的な結果です。

子どものそれぞれの成長や発達の段階によって、携帯電話やスマートフォンなどメディアとの関わりの課題が変化します。日本小児科医学会子どもとメディア対策委員会の『子どもとメディア』の問題に対する提言』では、乳児や幼児期ではテレビやビデオの視聴、学童期ではそれに加えてテレビゲームや携帯用ゲームの使用、思春期以降ではインターネットや携帯電話の利用が課題となると述べられています。そして、子どもとメディアのより良い関係を築けるよう、5つの具体的な提案をしています。(日本小児科医学会子どもとメディア対策委員会の『子どもとメディア』の問題に対する提言』2004)

『「子どもとメディア」の問題に対する提言』

日本小児科医学会 子どもとメディア委員会 資料より

2歳までの
テレビ・ビデオ視聴
は控えましょう

授乳中、食事中的
テレビ・ビデオの視聴
はやめましょう

すべてのメディアへ
接触する総時間を制
限することが重要で
す。1日2時間まで
を目安と考えます

子ども部屋にはテレビ、
ビデオ、パーソナルコ
ンピューターを置かな
ないようにしましょう

保護者と子どもで
メディアを上手に
利用するルールを
つくりましょう

また、日本小児連絡協議会（現、日本小児医療保健協議会）「子どもとICT～子どもたちの健やかな成長を願って～」委員会では、「子どもとICT(スマートフォン・タブレット端末など)の問題についての提言」のなかで、子どもがインターネットに関わることで生じやすい問題点を以下の4点にまとめています。

- 1) 情報管理が十分にできないこと
- 2) 日常生活リズムの障害が生じやすいこと
- 3) 親子の絆や実体験不足により社会性獲得の機会が欠如する危険性
- 4) 一般に子どもたちにはスマホなどを購入し、維持管理する経済能力がないこと

そして、保護者のみなさんへ、「不適切なICT利用が子どもの健やかな成長発達や心身の健康に悪影響を及ぼしうることを認識し、責任をもってスマホやタブレット端末を管理しましょう」と呼びかけています。

ご家庭でメディアの適正な使用について、これらを参考に一度振り返ってみてはいかがでしょうか？

※ここでいう「メディア」とは、テレビ、ビデオ、テレビゲーム、携帯用ゲーム、インターネット、携帯電話などを意味します。

もっとエコチル調査を知りたい方のために

環境省エコチル調査ホームページ、福島ユニットセンターのホームページでは、エコチル調査に関するさまざまな情報発信をしています。

●エコチル調査だより

エコチル調査だより（エコチル調査コアセンター発行）では、調査の進捗状況や研究成果を参加者のみなさまにお知らせしています。最新号、バックナンバーともに「エコチル調査参加者のひろば」からご覧いただけます。

環境省エコチル調査ホームページ
「エコチル調査参加者のひろば」

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>



●成果発表一覧

全国データを利用した研究成果は、国内研究者によって今後段階的に報告されていく予定です。

これまでに公表された論文のまとめ（日本語）は、環境省エコチル調査ホームページ『成果発表一覧』でご覧いただけます。

環境省エコチル調査ホームページ
「成果発表一覧」

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>



●福島ユニットセンターホームページ

子どもの健康と幸福に関する全国調査
エコチル★ふくしま エコチル調査 福島ユニットセンター

エコチルファミリーの皆さま子育て応援いたします。

エコチル調査へご協力ください。

こぼちる

福島県でのお母さんの登録数 (調べ人数) **13,131人** (2017年1月24日現在)

年齢別エコチルキッズ 2018年6月30日時点の暫定的な数値

3歳	1,686人	4歳	6,375人	5歳	3,155人	6歳	1,295人
----	--------	----	--------	----	--------	----	--------

→ エコチル調査 Q&A

→ エコチルふくしまについて

→ スタッフあいさつ

→ 調査実施 施設等

→ みんなの図書室

エコチルふくしま 検索

イベントカレンダー

今後のイベント予定やこれまでのイベント報告をご覧ください

みんなの図書室

『エコチル★ふくしま通信』のバックナンバーや福島ユニットセンターの活動報告書などをご覧ください

エコチル調査福島ユニットセンターホームページ

<http://www.ecochil-fukushima.jp/>



最新の情報、
ぜひチェックして
みてね！



福島ユニットセンターでは多くの医療機関・施設のご協力いただいて調査を進めています

●産婦人科協力医療機関（リクルート・妊娠・出産・出産後1か月調査）

県北地区

福島赤十字病院、明治病院、いちかわクリニック、ささや産婦人科、新妻産婦人科、本田クリニック産科婦人科、済生会福島総合病院、大川レディースクリニック、菅野産婦人科医院、セイントクリニック、大原総合病院、福島県立医科大学附属病院、二本松ウイメンズクリニック、社会保険二本松病院（旧名称）、渡辺医院、谷病院

相双地区

あらき産婦人科クリニック、南相馬市立総合病院、レディースクリニックはらまち、西潤マタニティクリニック、原町中央産婦人科医院（旧名称）、大町病院、双葉厚生病院、今村クリニック、公立相馬総合病院

県中地区

国立病院機構福島病院、太田西ノ内病院、たなかレディースクリニック、岡崎産婦人科、寿泉堂総合病院、塚原産婦人科内外科医院、トータルヘルスクリニック、星総合病院、古川産婦人科医院、総合南東北病院、小森山産婦人科医院

県南地区

片倉医院産科婦人科、白河厚生総合病院、塙厚生病院、岩佐医院（茨城県久慈郡）

会津地区

竹田総合病院、舟田クリニック産科婦人科、会津中央病院、坂下厚生総合病院

いわき地区

村岡産婦人科医院、渡辺産科婦人科、かたよせクリニック産科・婦人科、NOBU マタニティクリニック、いわき市立総合磐城共立病院、森田泌尿器科産婦人科医院（旧名称）、つくだ町産婦人科医院、月川レディースクリニック、佐藤マタニティー・クリニック

● 詳細調査協力医療機関・施設

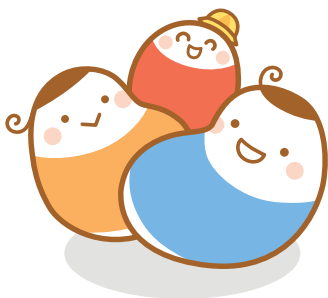
医学的検査

公立藤田総合病院、大原総合病院、福島県立医科大学附属病院、公立相馬総合病院、星総合病院、太田西ノ内病院、国立病院機構福島病院、白河厚生総合病院、竹田総合病院、福島県立南会津病院、いわき市立総合磐城公立病院

精神神経発達検査

公立藤田総合病院、福島県立医科大学附属病院、公立相馬総合病院、星総合病院、太田西ノ内病院、白河厚生総合病院、竹田総合病院、福島県立南会津病院、子どもの家

ご協力いただき
ありがとうございます



エコチル調査の サポーターになりませんか！

サポーターって？

エコチル調査は、3年間で10万組の参加者を募り、さらに13年の追跡調査を実施するという、わが国ではかつてない大規模で長期的な調査です。十数年間の調査を継続するためには、社会全体の理解と応援が必要です。参加者のみなさまやご家族はもちろん、調査にご参加いただけない方でもこの調査の趣旨にご賛同いただき、サポーターにぜひご登録ください。

サポーターにご登録いただくと・・・

エコチル調査サポーターにご登録いただいた方には登録証を発行します。エコチル調査に関するさまざまな情報を「エコチル調査メールマガジン」にてお届けします。

子どもたちがすこやかに成長できる環境を未来に残すために
みなさまのご登録をお待ちしています

登録はこちらから！



環境省エコチル調査ホームページ

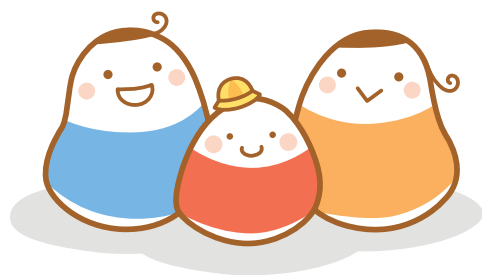
サポーターページ「エコチル調査サポーター（個人）」

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/supporter/individual.html>



エコチル調査でわかったことは、
将来子どもたちが大人になり、
自分たちの子どもを産み育てる時に役立ちます

今後も調査へのご理解とご協力を
どうぞよろしくお願いいたします



編集・発行

公立大学法人福島県立医科大学

エコチル調査福島ユニットセンター 福島本部事務所

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024-547-1447 FAX 024-547-1448

お問合せ窓口 TEL 024-547-1449

エコチル調査福島ユニットセンター 郡山事務所

〒963-8024 福島県郡山市朝日3丁目6番4号

レジデンス朝日第2ビル2階

TEL 024-983-4750 FAX 024-983-4751

お問合せ窓口 TEL024-983-4780

<http://www.ecochil-fukushima.jp>